

テーマ 「女性が活躍するまちづくり」

日 時 令和7年3月17日（月）午後2時00分～3時30分（1時間30分）

場 所 北上市保健・子育て支援複合施設 hoKko まなびルーム1

参 加 者 市内で活躍されている女性の皆さん

GETO Village 株式会社 代表取締役 当主 村岡葉子さん

ゲストハウス蘖 オーナー 皆川 貴美子

北上市

市長、まちづくり部長、商業観光課長補佐

（オブザーバー）地域づくり課長、地域づくり課多様性社会推進係長

（事務局）政策企画課員

以下、開催内容の概要を報告します。

参加してくださった皆さんのごく簡単なプロフィール



村岡 葉子 さん (GETO Village 株式会社)

埼玉県出身、2025年1月にGETO Village 株式会社を設立。温泉を核としたウェルビーイングな場・人材づくりを目指す。



皆川 貴美子 さん (ゲストハウス蘖)

一関市出身、2017年に北上市に移住。「暮らすように旅をする」をコンセプトとしたゲストハウス蘖を2019年にオープン。

市長あいさつ

本日はお二人がどのような活動をされているか知り、女性活躍について本音で語り合いたいと思います。宜しくお願い致します。

タウンミーティングを申し込んだ理由（村岡さん）

北上市という魅力的なまちを住んでいる自分たち自身で盛り上げたい考えています。本日は「女性活躍」と「文化・観光」という大きくは二つの話題で意見交換したいと思い申し込みました。

✿ 意見交換の内容（ファシリテーターは村岡さん）

たくさんの意見が飛び交いましたが、いくつかご紹介します。

■ 皆川さんの活動 “暮らすように旅をする”

■ 皆川さん

私は一関市出身で、歯科技工士として働いていました。結婚後に盛岡で旅館を開業、2017年に北上市に移住し、2019年に「ゲストハウス蘖」をオープンしました。木の切り株や根元から、新しく芽が出てきたものを蘖と言うのですが、新しい場所で新しいことを始め、蘖のように伸びていけるようにという想いで名付けました。ゲストハウスは展望地から車で2分の稻瀬町にあります。定員は6名までの一棟貸しで、ペットと宿泊できる昭和の一軒家です。国内外の様々な方に御利用いただいております。「暮らすように旅をする」がコンセプトで、利用者には「一拍でも暮らしていってね」と声をかけています。

「川が見える場所」という条件でゲストハウス蘖のための物件を探し、稻瀬町を選びました。北上市全体で考えた時に、各地に宿泊先があるほうが良いと考えたのです。ゲストハウス蘖の宿泊者の中には、夏油高原スキー場に行く方もいますし、北上市へ出張で来たビジネス客もいます。訪れる方には、岩手のセカンドハウスだと思ってくださいと伝えています。

また、北上市への恩返しと思って市のファミリーサポート事業に登録し、出来るときには子どもの預かりもしています。

■ 女性が活躍するまちづくり “市には縦と横の繋がりづくりに関わって欲しい”

■ 皆川さん

「何かやりたい」という想いを持っていたところ、北上市の広報に掲載された「ブチ起業講座」の小さな記事を見つけたことが、活動のきっかけと言えるかもしれません。その時に関わってくださった講師や市職員の方々とのご縁が今の活動に繋がっていて、感謝しています。

北上市に来て感じたことは、マルシェが盛んだということです。普段は会社員、子育て中のこのような方々が、いつかは店を持ちたいと夢を抱きながら、イベントへ参加や出店しています。地域に活気を生むのは、地元に根差した小さな力の集結、コミュニティだと考えています。行政としては、敷居は低く、間口は広く、縦と横の繋がりづくりに関わっていただき、未来の芽を育てるような手助けをしていただけないとありがたいです。「北上市なら何かできる」、「行政のサポートが手厚い」、「チャレンジさせてくれる街」というイメージが根付き、気運が高まればいいなと考えて

います。

◆北上市の強みを活用して組み合わせる

■ 皆川さん

北上市は、「自然」と「街」の距離が近く、工業・農業・観光などの切り口からでもいける宝の山。この強みを活用するのが一番で、単独ではなくそれぞれが上手く繋がればいいなと思っています。例えば、大人の社会見学や工業団地ツアーや観光を組み合わせることが出来そうです。市内のホテル等と連携して宿泊者を取り込めればいいですね。

■ 市長

大人や子どもたちの工場見学を受け入れてくださっている企業が多くありますが、確かに観光の視点から市が積極的に外から呼び込んでいるわけではないですね。

■ 村岡さん

(観光目的ではなく、) 知的好奇心を持って北上に来る方向けに学びの機会を設けることも、北上市に人を呼び込むことに繋がるかもしれません。

■ 皆川さん

北上には展勝地の桜がありますが、桜以外にも季節ごとの花で通年楽しめるといいですね。また、みちのく民俗村近くの沢では、ホタルが生息しているそうです。花を育てる、ホタルの里を守るといった活動を、子どもを含めた市民参加型で行うこと、小さい頃から地域を想う気持ちが醸成され、大人になった時に北上を想うことにも繋がるかもしれません。

■ 市長

陣ヶ岡のつづじ、お滝さんのあじさい、夏油のひまわりなど、市内には桜以外にもたくさんの花の見所があります。たしかに、これらを季節ごとに繋いでいくのは良いですね。

■ 村岡さん

新しく整備しなくとも、北上市にもうすでにある資源をどう活用し、どう見せかかが必要だと思います。

■ 皆川さん

桜の時期、国見橋から展勝地まで花見客で渋滞しますよね。橋の手前で車や観光バスを降り、展勝地に徒步で向かう道中も桜を楽しめたら素敵ですし、混雑が緩和するかもしれません。展勝地はもう十分整備されていますから、より広いエリアで捉えていくのはどうでしょうか。

■ 村岡さんの活動 “温泉を核としたウェルビーイングな場・人材づくり”

■ 村岡さん

埼玉県出身で、29歳のときに会社を退職し仙台に移住しました。3年間プロ野球球団のチアリーダーとして活動したのち、今度は北上市に移住して仙台との二拠点生活が始まりました。東北での生活は9年目になります。いわてNPO-NETサポートでの活動のほか、今年の1月には GETO Village 株式会社を立ち上げるなど、様々な活動に取り組んでいます。

私がまちづくりをする理由は三つあります。一つ目は、「失われたら取り戻せない秘湯を残したいから」です。北上市には資源として温泉がありますが、人手不足を理由に営業出来なくなってしまった場所もあります。一度失われたら復活させることは厳しいと思い、守りたいと考えています。二つ目は、「自分も人も健康でいて欲しいから」です。働きながら自分で自分をケアすることは難しいと感じているときに、北上市を訪れて、人の温かさや温泉を含めた自然の豊かさに触れ、人間らしい心や生活を取り戻すことが出来ました。温泉が、自分や自分の大切な人達の心身の健康を取り戻すきっかけになればと考えています。三つ目は、「賑やかな空間への憧れ」です。幼少期は共働きの両親の帰宅をマンションでひとり待つ鍵っ子でした。寂しいという感情を抱いていた私は、父の本棚で『めぞん一刻』という漫画を見つけ、それが温泉を活用した現在の活動のコンセプトに繋がっています。

漫画『めぞん一刻』では、アパートの住人達が家族ではないけれど多世代で緩やかにコミュニティを作っています。温泉も、滞在する方が地域に関わって自身を見つめなおし成長するきっかけを作ることが出来る場所にしたいと考えています。人材確保についても、仕事そのものが地域課題の解決になって働く意義を感じてもらえるよう目指していくば、サービスを提供する側とされる側の境目が無くなって、温泉を核としたウェルビーイングな場・人材づくりに繋がります。10年後には、温泉に集う人材で地域の共通課題を解決するワークシェアリングのモデルを作りたいと考えています。さらに将来的には、全国の温泉好きと人手を必要としている温泉宿をマッチングさせることが出来たらと考えています。

■ 恋原商業観光課長補佐

新しい発想が入ることで、地域全体の活性化に繋がると思います。それぞれの地域の良さがあると思いますので、それらを組み合わせることで地域の課題が解決していくでしょうね。

■ 村岡さん

温泉のある夏油エリアから川東エリアまで巻き込んでいければいいと考えています。

■ 柔軟な働き方で地域の課題を解決する

■ 村岡さん

マルチワークはトレンドになっていて、総務省のホームページでは「特定地域づくり事業協同組合制度（※）」が紹介されています。移住を考えている人にとっては好きな仕事を組み合わせて働ける点が良いですし、ライフステージが変わった女性が働き続けられることにも繋がるのではないかと思います。

※人口減少地域において、マルチワーカー（季節毎の労働需要等に応じて複数の事業者の事業に従事）に係る労働者派遣事業等を行う事業協同組合に対して財政的、制度的な支援を行うもの。

■ 鈴木まちづくり部長

テレビを観ていたら、旅先で働く人材を集める会社が取り上げられていました。村岡さんのサービスを提供する側とされる側の境目が無くなるという話と同じようだと感じます。

■ 村岡さん

私も利用したことがあります。

■ 皆川さん

市内の農家さんに話を聞くと、繁忙期に人手が欲しいと思っても企業のサービスに自ら登録するのは難しいから、市で相談や人材紹介の窓口を用意してくれたら良いなと言っていました。こうした窓口が出来れば、さくらまつり等のイベントで求人し、働きながら桜を見て楽しんでもらうということも可能かもしれません。

■ 市長

通常のハローワークさんでの求人とちょっと違うでしょからね。

■ 鈴木まちづくり部長

雇用する側が宿泊場所を用意する必要がありますね。村岡さんや皆川さんの役割はますます重要です。

■ 市長

沖縄県石垣市では、サトウキビの収穫時期に島の外から働き手が来て、民宿に数週間滞在しながら就労するそうです。

■ 村岡さん

宿泊場所については、地域の空き家を活用することも出来そうですね。

■ 市長

当市は空き家の改修に補助金を出したり、空き家バンクに登録してもらったりしています。もっと物件が流動的に動くよう、活用する必要がありますね。

✿ 感想（参加者振り返り）

■ 皆川さん

今日は緊張しましたが、お話をしたいことは話せました。良い時間をありがとうございました。

■ 村岡さん

北上のまちを好きだからこそ自分たちで良くしていきたいと考えていますので、ぜひ協力しながら様々な活動をしていきたいと考えています。引き続きよろしくお願ひいたします。本日はありがとうございました。

■ 市長

お二人とも北上市出身ではないからこそ、我々が気付かない北上の魅力に気付いていただき、また分析していただいていることが非常にありがとうございます。そして、ご自身でアクションを起こしていることが我々に元気を与えてくれています。ぜひ周囲にもそのエネルギーを分けて巻き込んでいって欲しいです。我々もより北上を元気に出来るよう頑張りたいと思います。本日のお話は大変参考になりました。ありがとうございました。

✿ 集合写真

栩原商業観光課長補佐

鈴木まちづくり部長



村岡さん

八重樫市長

皆川さん

✿ お問い合わせ先

北上市企画部政策企画課 行政経営係

電話：0197-72-8224 メール：kikaku@city.kitakami.iwate.jp